

市の人口 (2月1日現在)

世帯数
13,515世帯 9世帯減
人口
男 23,947人 20人増
女 24,550人 20人減
計 48,497人 0人

市報

発行：茨城県石岡市役所 〒315 石岡市大字石岡3165番地の2

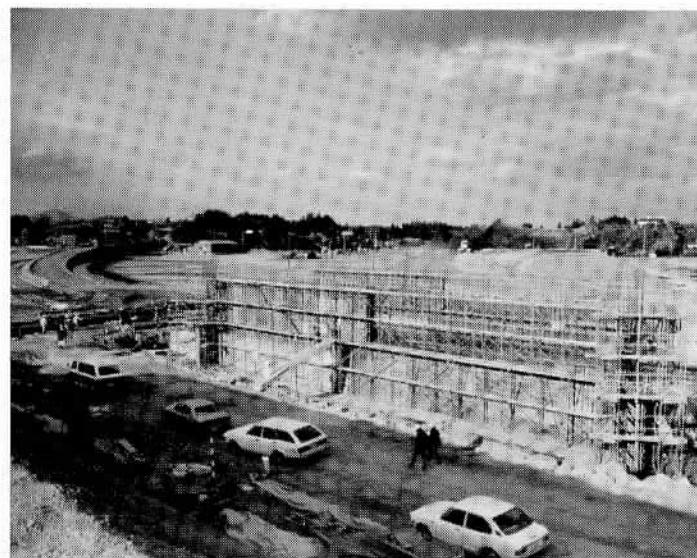
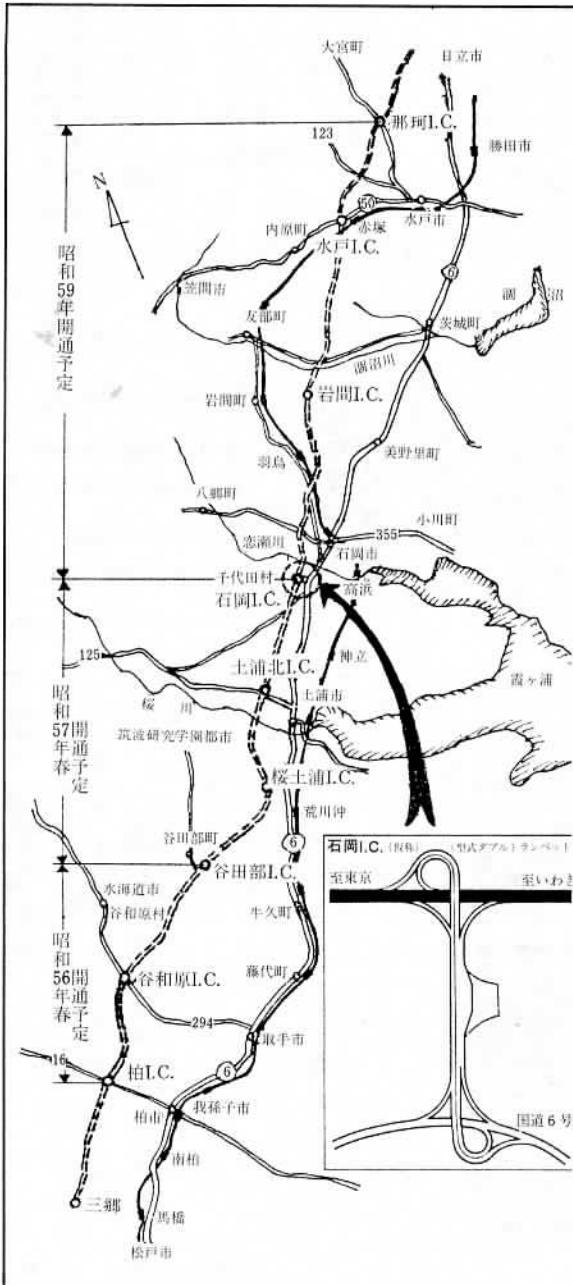
昭和56年2月15日発行（毎月1回15日発行）昭和44年6月9日第3種郵便物認可 定価1部5円

—311

号

石岡市民憲章

1. しまじこに誇りをもち、栄えるまちをつくります。
 1. きまりを守り、住みよいまちをつくります。
20. 1. からだをきたえ、明るいまちをつくります。
 01. 教養きたかめ、文化のまちをつくります。
1. たがいに助けあい、楽しいまちをつくります。



市内での全面工事が始まった常磐自動車道
(石岡有料道路との交差附近・写真左石岡有料道路)

常磐自動車道

市内台地の工事始まる 柏IC・石岡IC 57年春開通予定

▼とじて保存しますよう▲

常磐自動車道は、埼玉県三郷市から福島県いわき市までの、総延長約百七十九キロメートルです。

このうち、柏～谷田部インターチェンジまでは今春開通。さらに、昭和五十七年春には、谷田部～石岡インターチェンジ（千代田村の東方に設置）までが開通される予定です。

以後、石岡～那珂インターチェンジ間は、昭和五十九年頃に開通予定で順次建設が進められ

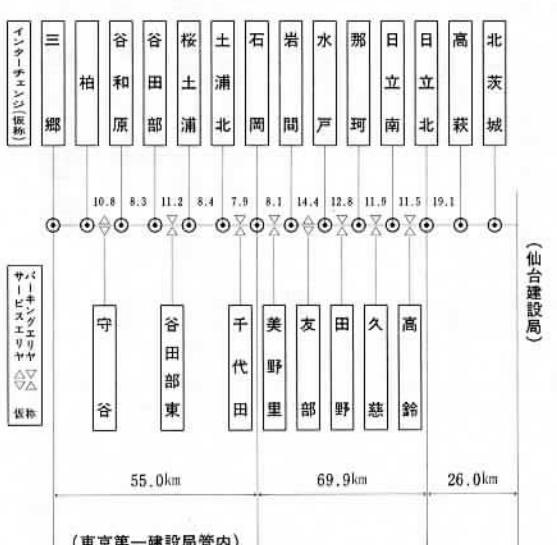
この道路は、三郷・水戸までが六車線計画で、当面は中央幾幅一車線ずつを残し、外側の幅員三・五メートルと三・七五メートルの各一本・四車線の供用をはかります。(水戸以北は四車線となります。)

また、道路の線形などを決める設計速度は、毎時百二十キメートルで、右表のとおり、インターチェンジ等が設けられま

市内本線内にバス停設置
三郷 水戸 六車線
設計速度毎時一二〇

を除く、市内の台地（二・六キロメートル）の工事で、昨年の十二月に始まり、昭和五十七年十二月まで工事が進められます。なお柏／石岡インターチェンジ（仮称）までは、昭和五十七年春開通を目指し、建設が進められております。

今月は、これら道路工事の概要を紹介します。



**市内主要道路
との交差は
函渠7カ所
橋11カ所を
設置〃**

切土約六十二万立方メートル(約二・五キロメートル)、盛土約十五万立方メートル(約一・一キロメートル)と、雑工事が行われます。

なお、市内主要道路と交差する盛土地域には、七カ所の函場(トンネル)を。切土する地域には跨高速道橋十一カ所。計十八カ所の施設が設けられます。

また、石岡工事事務所では、工事に際し、地元のみなさんへご迷惑をかけないよう、万全な対策を施すとのことですので、ご理解ご協力をお願いします。

石岡工事事務所。市内小山、〇〇二。電話四一一八一。

わが国では、約三百五十万人以上の人気が心身に障害をもつていると推定されています。障害者とは、病氣あるいは事故などのために身体的・精神的な機能が損なわれ、自分自身では通常の個人生活や社会生活を完全に、または部分的に行えなない人をいいます。

市内には、大きく分けて身体障害者約五百六十人、精神薄弱者約百五十人、そのほか精神障害者等の障害者がいます。

また、平均寿命が延び、高齢化社会が進むにつれて脳卒中の後遺症などによる障害者が増えるとともに、交通事故や労働災害などによる障害者が年々増加する

する傾向にあります。
わたしたちのだれもが障害者になる可能性をもつてゐるといつても言い過ぎではあります。障害者問題は、単に障害をもつた人だけでなく、わたしたち一人ひとりが自分自身の問題として理解していかなければなりません。

昭和五十六年　今年は「国際障害者年」です。

昭和五十一年の国連総会で決定された世界的規模の行動で、テーマは、障害をもつた人の社会への「完全参加と平等」です。「参加」とは単なる社会生活への参加にとどまらず、さまざな分野で社会の発展に貢献す

みんなが参加し
みんなが平等に暮らせる
よりよい社会づくりを

昭和56年 国際障害者年



リンゴ狩りを楽しむみなさん



▲成人おめでとう…616人が大人の仲間入り
今年の成人者は616人（男273人・女343人）です。市民会館にて式典を行い、475人の参加者を代表し、重藤正之君と青山寿美さんが謝辞を行いました。



府中中で立志式を行う
さる（二月四日）、府中中学校で二年生（二十九人）を対象に立志式が行われ、記念講演、マラソン大会を行ったほか式前一週間を記念週間とし、親子の話し合い、社会奉仕活動、自画像作成等を行ない、生徒の意識と自覚を新たにしました。（駅前で清掃奉仕をする生徒たち）



▼石小の2人、作文で全国一に！

石岡小学校では、さきほどの羽生悦子さん（郵政大臣賞）に続き、全国小・中学校つづり方コンクールで特選二位の小池敦子（6年）さんと、安全に関する作文コンクールで文部大臣賞の大山一孝（6年）君の2人が、見事全国一の受賞をうけました。



▲377人が参加し、親子タコあげ大会
さきほど、三村地区子ども会・学校・PTA主催により、冬休みを利用して、親子で製作したタコを、長見寺下の水田の新道で、377人が参加し行われました。自作したタコが青空に高くあがり、親子で喜びあつた。

図書館へ専門書の寄贈
さきほど、市内若宮一丁目五番、前野真一氏より、経済・経営の専門書と哲学書等の新刊本78冊、語学教科書のみなさまのご利用をお持ちしています。

まちのできごと



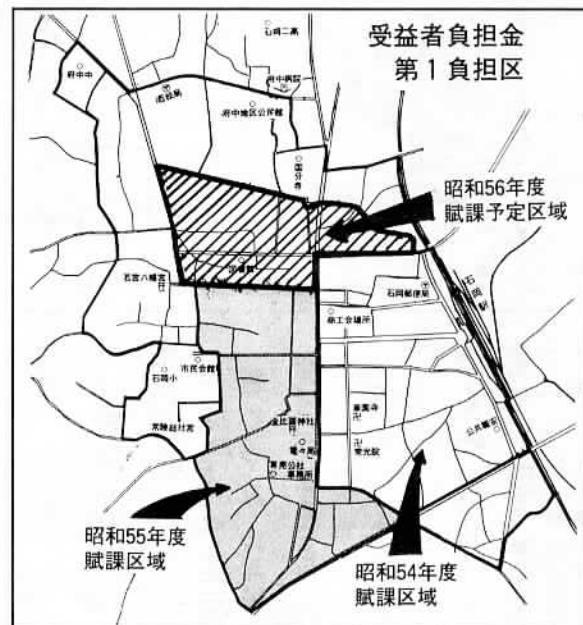
▲六軒老人クラブ雑巾200枚寄贈

このほど、新興住宅地では、始めての設立となった六軒老人クラブ（佐賀明会長、会員65人）では、社会奉仕事業の一環にと、全員が手ぬいで作りあげた雑巾約200枚を、学区内の東小、石岡中に寄附されました。手ぬいのものは堅くならず、生徒たちは、この善意に大変喜んでおりました。



56年度賦課対象区域

若宮二丁目、若宮三丁目、府中二丁目、府中三丁目の一部。



根当・染谷の史料探訪

(37)

十二月二日の午後、史料調査のため根当の額賀久氏宅を訪問した。同家は古くは府中新田（根当新田）ともいわれた当集落の旧家で、文書・記録類を所蔵されている由を伺い、訪れたものである。当主不在のため母堂もとさんのご案内を受けたが、七十八才とは思えない元気さであった。お話しによると、汚損のほげしい文書・記録は以前に整理されてしまったとのことで全く惜しい限りであった。

現に保管されている記録類を拝見したが、父君が戦前に石岡町議会の議員を経験されたとのことで、予算書をはじめとする議会関係の記録・書簡・教科書など教育史料が所蔵されていた。

市内には、庄舎移転、町村合併、戦争などの理由によって旧町村役場関係の公文書記録・史料がほとんど残っていないだけに、史料は非常に重要な個人の所蔵なお祖父嘉一郎氏（明治六年

生れ）の作製された明治期の村絵図も遺されており、市史の空白部分である近・現代史料の一部が補完されたことは、史料探訪の収穫であった。

ついで、染谷の小松崎慎氏宅を訪問した。同家は歴史も古く桓武平氏に連なる系図も遺されているが、後世火災にあって相当数の史料を失われたそうである。田丸稻之右門、藤田小四郎らが元治元年（一八六四）筑波山に挙兵したとき、市内鉛官稀荷を決起・集結の場所としたことによると、天狗党による防火、櫻武平氏に連なる系図も遺されているが、後世火災にあって相

社会の開発・近代化と共に、史料の散逸、亡失も増大しつつあるが、兩家の例にも見られるように、市内にはまだ貴重な史料・記録が数多く遺されていることは疑いがない。私たち委員はこれからも、史料発掘のため、充実した石岡市史づくりのために、一層頑張りたいと思っている。史料の発掘・収集のために、市民各位の御協力を

市長室 アラカルト
日本古藏

筑波嶺の峰より落る
男女の川

恋ぞつもりて測となりぬる
百人一首の一句のこの歌は平

安時代つまり千年も昔、陽成院様（五十七代天皇）がうたわれた名句です。

夕日を浴びて紫色に映める姿を石岡の西北に眺めながら、私達の石岡人は常陸府中の町を作つて来たのです。

いにしえの人達は、筑波山系の山々から流れ出る水に沿つて或は恋瀬川はあくまで清冽で甘く人々に潤いと喜びを与えてくれたに違ありません。

私達は天の恵と深く感謝し靈峰筑波を見直さなければなりません。

しかし、現在の私達の水は、生活用水、かんがい用水は、工業用水はどうなつてゐるのでありますか。私は非常に心配してい

科学が進歩し太平洋の水が飲料水として使用できる時代にでもなれば話は別ですが、下水道も間もなく完備し水洗トイレの水も、洗濯機の水も今のように贅沢に使つてはなお更、石岡の水不足に拍車をかけるでしょう。

市民の皆さん、水を大切に使いましょう。日本全国を探してもこんな甘いおいしい水はありません。子孫のためにも水を大切にしましょう。

科学が進歩し太平洋の水が飲料水として使用できる時代にでもなれば話は別ですが、下水道も間もなく完備し水洗トイレの水も、洗濯機の水も今のように贅沢に使つてはなお更、石岡の水不足に拍車をかけるでしょう。

なお、当家は龍神山佐志能神社の祠官を勤めていた関係上、こんな甘いおいしい水はありません。子孫のためにも水を大切にしましょう。

科学が進歩し太平洋の水が飲料水として使用できる時代にでもなれば話は別ですが、下水道も間もなく完備し水洗トイレの水も、洗濯機の水も今のように贅沢に使つてはなお更、石岡の水不足に拍車をかけるでしょう。

史料は非常に重要な個人の所蔵なお祖父嘉一郎氏（明治六年生れ）の作製された明治期の村絵図も遺されており、市史の空白部分である近・現代史料の一部が補完されたことは、史料探訪の収穫であった。

ついで、染谷の小松崎慎氏宅を訪問した。同家は歴史も古く桓武平氏に連なる系図も遺されているが、後世火災にあって相

社会の開発・近代化と共に、史料の散逸、亡失も増大しつつあるが、兩家の例にも見られるように、市内にはまだ貴重な史料・記録が数多く遺されていることは疑いがない。私たち委員はこれからも、史料発掘のため、充実した石岡市史づくりのために、一層頑張りたいと思っている。史料の発掘・収集のために、市民各位の御協力を

お願いしたいと思う。

史料は非常に重要な個人の所蔵なお祖父嘉一郎氏（明治六年生れ）の作製された明治期の村絵図も遺されており、市史の空白部分である近・現代史料の一部が補完されたことは、史料探訪の収穫であった。

